

# 「人権ってなに？」

講師 弘瀬理沙さん

「人権ってなんですか？」って聞かれたら、こうですって答えられる人いますか？いないですね。これは大人の人もそうです。たくさん差別について勉強もしているんですが、こんな風に聞かれたら答えられない。でも、すごく大事なところなんですね。

めちゃくちゃいい人にも、嫌な人にもある権利が人権なんですね。そのみんなが持っているものを、お互いに大事にしないとイケないというのは、実は、今、みんなが生活している日本ではルールなんです。これくらいのことだったら大丈夫だろうとか、誰かを攻撃してみるとか、読んだり見たりした人が嫌な思いする言葉を、外に向けて発してみるとか、これはルール違反になるんです。ルールは必要、守らないとイケないということです。

「なぜ、そんなに人権が必要なのか？」「どうしてそこまで大事にしないとイケないのか？」「人権が大事にされていなかったらどんなことが起きるのか？」と考えてみましょう。今、大変な世の中で生活していると思います。私も、今、ものすごくストレスが溜まっています。自分が生きていて幸せだなあ！と感じるときは、何をやるかというのを自分でチョイスできるかどうかだと思うんです。自分で選べるか選べないかというのは、すごい大事なことで、毎日毎日生きていく中で、飲み物一つ、食べ物一つ、寝る時間一つ、何かしようとする、何かから何まで何かを選ぶことの繰り返しが人生です。そんな中で、自分でそれを選んでいるか選べていないかっていうことが、人の幸せにもものすごく関係があります。いつも自分が望まないほうを選ぶという生活が続くというのは、幸せを感じづらいですね。

人権問題は何が問題なのかという、その人の何か一つの属性、例えば、男性であるか女性であるか、いろんな性のあり方がありますが、いろんな国の人と関わっていたらものすごく感じるんですけど、どこにルーツがあるかとか、肌の色もそうですね、その人の属性をポイントに、いろんなものを選ぶという機会が奪われるということが起きてないか？ということが、人権問題だと思うのです。だから、これから生きていく中で、いろんな選ぶという行為の積み重ねを、自分の力で選べていける人生と、そうではない人生と、いろんな人生があると思いますが、やはり人間が生きていくのに必要なのは、何かを選ぶということが自分でできるかできないか、これがきちんと守られているかいないか、どんな家に住むかとか、どんな仕事をするかとか、どんな友達とつきあうかとか、どんな恋愛をするかしないかとか、結婚もするかしないかとか、母親や父親になるかならないかとか、いろんなことを選ぶということを守るために、この人権がきちんと守られないとイケないのです。

さっき少し言ったのですが、私は若い時、中学生くらいの時は差別する人は性格が悪い人

で、性格がいい人は差別しないと思ってました。そうやって信じてたんですね。ところがほんとにそうなのかな？心ってなんだろう？と考えるようになります。ひょっとしたら人の行動というのは、心もそうなんですけど、もう一つ別の何か、人のルールということで起きてくるのではないかなと思うんです。

「心って何？」というのは永遠の疑問ですけど、誰かのこと好きとか嫌いとか、あれは綺麗だなあとか、あれは嫌だなあとか。。。そんなものが心かなと思うんですけど、人権問題は心の問題だ、つまり、世の中に心の温かい優しい人が増えていくと差別はなくなるんじゃないか？という話がありますが、私はちょっと違うかなと思うんですね。

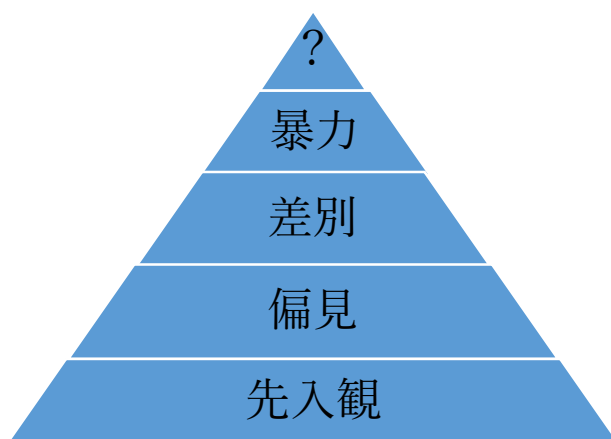
「差別」と「区別」というよく似た言葉があるんですが、これは違いますね。全然違うことなんです。これは覚えておいてください。世の中で生きていく中で、自分の身に起きていることが起こってもいいことなのか、どうしても我慢しないといけないことなのかということを考えていたりするときに、とっても大事なことになってきます。不当な扱いをされているかされていないかということもポイントですね。区別というのは実は生活のいろんな場面で存在します。例えば年齢とか、例えば立場とか、属性、何かと何かが違うということをこれを区別というんです。区別、違うという状態は、何も悪いことはないのです。差別をなくすということは、違うということ無くすことではないのです。違うというもの同士は、違うという人どうしが、いい感じで生きていくことができるという状態を目指すのが、差別を無くすということであって、違うということ無理やり同じにすること、もしくは違う、これはどう頑張っても同じにならない、だから違うあっちのものだけ消えてほしい！というようでは、差別を無くすことには絶対になりません。また逆に、あなたも私たちと同じように、差別をされるような立場になってみたらどうですか？というような迫られ方をして辛いとかいうようなことがあれば、それは信頼できる誰かに相談して、考えていったほうがいいです。そんな迫られ方をされることはないですし、そんな風な迫り方も間違いです。

「差別やいじめは誰が決めているのですか？」ということを考えてみましょう。何か被害を受けてる、何か嫌な思いを自分はしているという人の気持ちに寄り添うことはとても大事なんですけど、それが差別なのかいじめなのかということについては、それを見極めるには、「人権は何ですか？」というところに帰っていくと思うのです。それはどういうことかというと、誰かに対して死ぬということ、そのものを考えてほしいと私は言いたいのです。それぞれの関係性で被害者、加害者、傍観者などの立場になることもあると思うのですが、その起きていること自体を考えてほしいということです。

「みんなが生活している日本には、こんな人権問題があります」ということが法務省のホ

ホームページで紹介されていますが、人権問題は増えていっています。増えていってるとことは、これらの人権問題についてみんなで考えようっていう呼びかけがされていることで、いいことだと思っています。この人たちの人権が脅かされていることが問題ですよということが書いてあります。

では「差別はどうやって作られるのか？」ということを考えてみましょう。  
差別はこのピラミッドの中の真ん中にあります。



真ん中にあるんですが、最初から差別は起きてこないということです。ある日突然いきなり差別が起きるのではないのです。差別は差別の起きるところからしか起きてこない。一番下の「先入観って何ですか？」というところ

なんですけど、先入観というのは思い込みのことを言います。思い込みというものは無くすることはできません。絶対にできません。私の中にもとてもたくさんあります。この思い込みというのは持っていてもいいものです。次は「偏見」です。偏見というのは、よくない思い込みをわざと表現することを言います。普段いい人が大変な時になると、普段のその人の中にあるよくない偏見や思い込みが出てくることがあります。たぶんずっと思い込みがあるんでしょう。普段はそれを外に出すことはない、出す必要がないから言わないのでしょうか。けれども何か起きたときに言いたくなるというのは、わざと自分の思い込みを外に出してしまうのです。その結果、それを見たり聞いたりした人が何らかの影響を受ける、これが差別ということなんですね。差別が起きてくると、例えばどこに住むとか、何かを学ぶとか、働くとか、結婚する、しないとか、いろんなこと、人生の節目が揺らいでいくのです。いろんな人が選ぶというチャンスが奪われていく、だからこれはとても大事な問題だということで、差別を禁止しますという法律を作っている国もたくさんあります。もちろん日本もそうです。

みんなも今、色々な SNS やゲームを使ってると思います。私もいろんなものを使ってますけど、忘れたらいけないことを伝えます。インターネットを使うと、ポンとボタンを押し

たその一瞬で、相手に、しかも世界中に伝わります。だから気をつけないといけません。誰とでもつながれるということは、大事なことですけど、つながっていることで、傷つけあえるということよりも、いい感じにいる方がいいですね。自分がどこの誰かというのも隠すことができますがこれは×ですね。いろんなツールがありますが、本当の自分を隠して、隠れている状態だから好きなことができる、見られていないから何でも好きなことやっていいのかということではなくて、絶対に見つかるので、やめたほうがいいです。みんながみんな、お互いを大事にできる人ばかりではないので、自分をきっちり守ってください。

今はコロナウイルスがいろんなところで拡がっているということで、世界中がある属性の人を攻撃するような書き込みであふれています。例えばヨーロッパ、アメリカの方ではアジアの人に対して大変な差別が起きていますね。暴力行為も起きています。これは今起きたことではなくて、普段からアジア人に差別的に思っている人が起こしてるわけです。黒人の妊婦さんの産後の死亡率がそうでない人の3倍ということも、普段の生活の中に、黒人の女性に対する偏見が潜んでいるからなんです。だから、なんでもない普段の生活の中に何かあるかということを考える、今日のように、普段から勉強することがいかに大切かということなんですね。

「差別はなくなるんですか？」という問いに対して答えを考えると、なかなか、ぐるぐるぐるの迷路に迷い込んでわかりません。何をどうするのですかという風に考えたら、世の中変わっていかないのはしんどいなと思うのですが、それでも頑張っていけないかと思っています。

人間というのは、自分という人間を、どれだけのお金の力を使っても、もう一人ここに連れてくることは無理なのでね。自分のことを大事にしてほしい。いろんな人がお互いに、いろんな人同士でうまくやっていくということがとても大事なと思います。富士山は世界に一つしかないから、大事にしないとイケないと言われるのですが、人間も同じなんですね。どんなに嫌な人、嫌いな人でも、その人がそこにいるということを誰も邪魔することはできません。やってはいけない。それをされることもない。困ったり、嫌だなと思ったり、しんどいということがあるときには、周りの信頼できる人にきちんと相談して、息苦しくないように生きていきましょう。しばらくしんどい世の中かもしれませんが、いつかいいことがあると思いますから。またそんないい世の中を作っていくために頑張っていこうと思っています。またどこかで会えたらいいですね。